

平成28年度

文部科学省科学技術人材育成費補助事業  
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」  
事業報告書



国立大学法人 琉球大学  
ジェンダー協働推進室

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地  
TEL098-895-8675 FAX098-895-8760  
Email [gender@to.jim.u-ryukyu.ac.jp](mailto:gender@to.jim.u-ryukyu.ac.jp)  
<http://www.gender.jim.u-ryukyu.ac.jp/>

平成29年7月発行



国立大学法人 琉球大学  
ジェンダー協働推進室  
University of the Ryukyus  
Gender Equality Promotion Office

## 琉球大学 男女共同参画アクションプラン

第3期中期目標・中期計画に基づき、本学の男女共同参画の推進に関する「アクションプラン」を改訂しました。平成28年度から平成33年度までの行動計画の実現に向けた計画的な取組を定め、新たに女性研究者の上位職への積極的登用にに向けた取組が盛り込まれました。

### 男女共同参画の推進について ～アクションプラン～（平成28～33年度）

平成22年度に制定された本学の男女共同参画宣言と基本方針、第3期中期目標・中期計画をふまえ、本学における男女共同参画の一層の推進を図るため、平成28年度から平成33年度までの行動計画を下記のとおり策定し、その実現に向け計画的な取組を行う。

#### 1. 男女共同参画意識の醸成と情報発信

- ・全学的な意識啓発の推進
- ・HP、ポスター、リーフレット等を活用した情報提供
- ・男女共同参画の取り組みや女性研究者の活躍等の学外への積極的な情報発信
- ・男女共同参画やジェンダー学関連の教育科目等の充実

#### 2. 職場環境の改善・充実

- ・研究に専念できる環境整備の推進
- ・女性研究者支援のための学内予算の確保
- ・スキルアップ支援の積極的な実施
- ・ワーク・ライフ・バランスの推進
- ・柔軟な勤務体制の確立に向けた取り組み
- ・女性比率向上に向けた人事プロセスの確立
- ・相談・支援体制の整備

#### 3. 女性研究者の上位職への積極的登用に 向けた取り組み

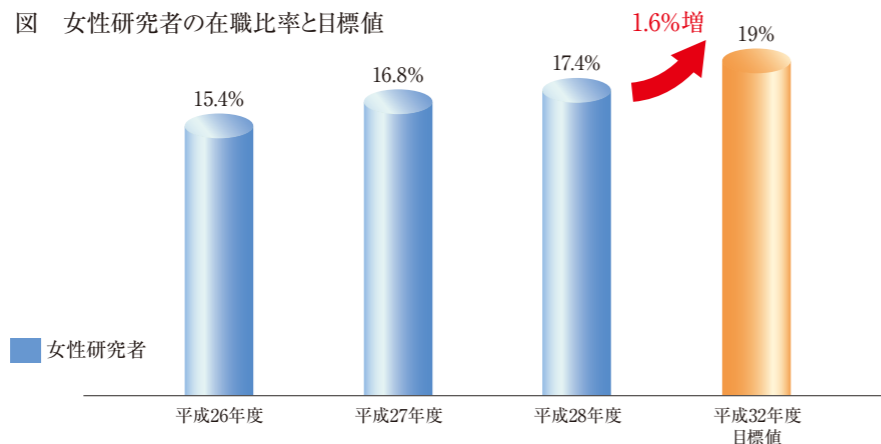
- ・女性教員在職比率向上に向けた目標値の設定（平成33年度末までに19%以上）
- ・女性教職員の指導的地位への登用など職位別男女比率を平成33年度までに20%以上達成
- ・女性研究者のリーダーシップの育成

平成28年8月10日  
琉球大学

## 女性研究者の比率増を目指します。

平成32年度末までに女性研究者の在職比率を19%に上昇させるため、新規採用増を目指します。

図 女性研究者の在職比率と目標値



## 活動報告

### 平成28年度

- 4/1 女性研究者採用に対するインセンティブ経費の配分
- 4/1 病児・病後児保育利用料補助事業開始
- 4/18 平成28年度前期共通教育科目「キャリアデザインとジェンダー」開講
- 5/1 平成28年度第1期研究活動等支援員制度開始
- 5/25 教授会におけるFD研修(農学部)
- 5/30 部局長訪問(法文学部)
- 6/2 部局長訪問(観光産業科学部)
- 6/8 部局長訪問(教育学部)
- 6/20 第1回キャリアデザインフォーラム「夢へのプロセス ～3つのチャ・チャ・チャ～」開催(講師:豊川 明佳氏 有限会社インターリンク沖縄 代表取締役)
- 6/22 教授会におけるFD研修(工学部)
- 6/23 「慰霊の日」託児ルーム開設
- 6/27 第2回キャリアデザインフォーラム「ジェンダー～パネルディスカッションから学ぼう～」開催(講師:益戸 正樹氏 バークレイズ証券株式会社 顧問、琉球大学経営評議会評議員)
- 6/29 平成28年度女性教員短期研究専念制度(試行)実施
- 7/6 「琉球大学女性研究者支援研究費(グループ研究)」実施
- 7/11 第3回キャリアデザインフォーラム「研究と実践を繋ぐ-国際保健の現場での模索」開催(講師:松山 章子氏 長崎大学熱帯医学グローバルヘルス研究科 教授)
- 7/16 オープンキャンパスにおいて女性研究者による「理系女子のための自然科学分野紹介」を実施
- 7/16 平成28年度第1期英文校閲費用助成事業および国際学会派遣費用助成事業実施
- 7/25 第4回キャリアデザインフォーラム「国際機関で女性が働くということ:開発途上国の現場や本部での経験から」開催(講師:佐崎 淳子氏 国連人口基金東京事務所 所長)
- 7/27 教授会におけるFD研修(医学部)
- 8/1～8/5 「夏休み学童保育2016」実施
- 8/1 ニューズレター「うない通信 Vol.10」発行
- 8/15 育児サポート・サービス利用料補助事業開始
- 8/10 「琉大アクションプラン(平成28年度～33年度)」改訂
- 8/17 教授会におけるFD研修(理学部)
- 9/21 教授会におけるFD研修(教育学部)
- 10/1 平成28年度第2期研究活動等支援員制度開始
- 10/26 教授会におけるFD研修(法文学部)
- 11/9 教授会におけるFD研修(観光産業科学部)
- 11/11 「第8回九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウム in 沖縄」開催
- 11/11 平成28年度第2期英文校閲費用助成事業および国際学会派遣費用助成事業実施
- 11/25～26 第1回スキルアップセミナー「英語論文個別指導」開催
- 11/27 第2回スキルアップセミナー「英語論文ワークショップ」開催
- 12/1 九州・沖縄アイランド女性研究者支援ネットワーク スペシャル・ミーティング開催
- 12/19 育児サポート・サービス利用料補助事業追加支援
- 1/13 第3回スキルアップセミナー「英語ディスカッション」開催
- 1/15 「大学入試センター試験」託児室開設
- 2/15～16 英語によるリーダーシップ研修「女性研究者のための効果的なコミュニケーション術」開催
- 2/24 競争的資金獲得セミナー「科研費採択に向けた効果的なアプローチ」開催
- 2/25～26 「一般入試(前期)」託児室開設
- 3/6 第1回ダイバーシティ推進セミナー「地域活性化に果たす役割～岩手大学男女共同参画の取組から～」開催
- 3/9 沖縄県における女性産学官コンソーシアムの構築に向けた意見交換会開催(文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」)
- 3/12 「一般入試(後期)」託児室開設
- 3/27～28 サイエンスプロジェクトfor琉球ガールズ(沖縄科学技術大学院大学との共催 於:石垣島)
- 3/30 第2回ダイバーシティ推進セミナー「ハワイ大学におけるダイバーシティ推進」開催
- 3/31 ニューズレター「うない通信 Vol.11」発行、リーフレット発行

# ダイバーシティ研究環境整備のための取組

## 研究活動等支援員制度

出産・育児または介護等に携わる研究者に対し、研究時間を確保し研究活動の活性化を促進するために、研究支援員を配置する「研究活動等支援員制度」を実施しました。

新たに、教育活動及び研究活動を支援する「教育・研究支援」と研究活動のみを支援する「研究支援」の2種類の支援を設け、「教育・研究支援」ではライフイベントや学内委員会委員、社会貢献・地域貢献等に携わる女性研究者を支援の対象としました。

また、本制度を利用する教員は、研究支援を行う研究支援員に対し、ワーク・ライフ・バランスを踏まえた自らの研究やキャリア形成を考える手助けとなるよう監督・指導を行い、次世代の研究者育成に努めています。

### 申請対象者

- 本学に在職する専任教員、特任教員、特任教員のうち次のいずれかに該当する者。  
ただし、本人又は配偶者(※)が産前産後休暇中、育児休業又は介護休業中の場合は除きます。  
※届出をしないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む。

### 【教育・研究支援】

- ① 女性研究者で、諸事情(例:ライフイベントや学内委員会委員等、社会貢献・地域貢献等)により研究時間を十分に確保することが困難な方
- ② 配偶者が常勤の研究者又は指導的地位(役員や管理職等)である男性研究者のうち、次のアからエのいずれかに該当し、研究時間を十分に確保することが困難である方
  - ア 配偶者が妊娠中である方
  - イ 小学校6年生までの子どもを養育している方
  - ウ 要支援または要介護の認定を受けている二親等以内の家族の介護がある方
  - エ その他、上記に準ずる理由がある方(例:難病、障がい者等の家族の介護がある等)
- ③ 独身の男性研究者で、上記②のイからエのいずれかに該当し、研究時間を十分に確保することが困難である方

### 【研究支援】

- ① 女性研究者または配偶者が常勤の研究者である男性研究者のうち、次のアからエのいずれかに該当し、研究時間を十分に確保することが困難である方
  - ア 妊娠中の者、または配偶者が妊娠中である方
  - イ 小学校6年生までの子どもを養育している方
  - ウ 要支援または要介護の認定を受けている二親等以内の家族の介護がある方
  - エ その他、上記に準ずる理由がある方(例えば、難病、障がい者等の家族の介護がある等)

表 研究活動等支援員制度 利用者の内訳(平成27年度～平成28年度)

※( )の数字は、内男性

	平成27年度		平成28年度(第1期)		平成28年度(第2期)	
	教育・研究	研究	教育・研究	研究	教育・研究	研究
申請数	17(1)		23(3)		29(4)	
採択数	5(0)	12(1)	4(0)	19(3)	5(0)	16(0)
採択総計	17(1)		23(3)		21(0)	

## 病児・病後児保育利用料補助事業

病時・病後児保育料補助事業を新たに制度化し、実施しました。これは、本学職員の就業及び家庭生活の両立を支援することを目的に、本学に在職する職員が育児支援における病児・病後児保育を利用する場合の利用料の一部を補助するものです。利用できる病児・病後児保育は別に定める病児・病後児保育事業を実施している病院等に限りです。

補助事業利用登録は教員5名、職員19名。この内、教員2名、職員2名の利用がありました。

### 利用対象者

本学に在職する職員(非常勤職員の場合は社会保険加入者に限る。)で、配偶者を有する場合は原則として配偶者が就労している場合のほか、特段の事情(配偶者の病気入院等)により、病児・病後児保育を利用しなければ就労することが困難であると認められる方

### 対象となる乳幼児・児童等

- (1) 0歳から小学校6年生までの乳幼児・児童
  - (2) 身体障害者手帳又は療育手帳の交付を受けている満18歳に達するまでの子
- ※ただし、病児・病後児保育事業を実施している各病院等の規定に準じます。

## 育児サポート・サービス利用料補助事業

本学の教職員の仕事と家庭生活の両立を支援するため、育児支援におけるサポート・サービスを利用する場合の利用料の一部を補助し、12名(女性教員7名、男性教員2名、職員3名)の利用登録がありました。この内、教員8名、職員3名の利用がありました。

### 利用対象者

本学に在職する職員(非常勤職員の場合は社会保険加入者に限る。)で、配偶者を有する場合は原則として配偶者が就労している場合のほか、配偶者の病気入院等により、育児サポート・サービスを利用しなければ就労することが困難であると認められる方。

ただし、補助事業の対象は要勤務日における利用に限り、産前産後休暇や育児休業等の休暇取得者や休業中の者は除きます。また、補助対象可能な時間帯については、要勤務日における午前7時～午後10時までとし、補助対象外となる時間帯及び宿泊の利用については、自己負担となります。

### 対象となる乳幼児等

- (1) 0歳から小学校6年生までの乳幼児・児童
- (2) 身体障害者手帳又は療育手帳の交付を受けている満18歳に達するまでの子

### 補助の対象となるサポート・サービス内容

- (1) 保育所、幼稚園、小学校及び放課後児童クラブ等(以下「保育施設等」という。)の保育開始前や、終了後の子どもの預かり
- (2) 保育施設等までの送迎
- (3) 児童が通う学校が休みの時、保育施設等による休みの子どもの預かり
- (4) 病児・病後児の預かり

※同一家庭以外の複数の乳幼児等を同時に保育する場合は補助対象外とします。

## 女性研究者の研究力向上のための取組

### 夏休み学童保育2016

平成28年8月1日(月)から8月5日(金)の5日間、教職員や学生の児童(小学生)を対象に夏休み学童保育を実施し、24名の児童(保護者19名)を受け入れました。

学内からご協力をいただき、体育館でのレクリエーションや、工作、英語プログラム、サンゴ礁の生き物観察などのプログラムが行われました。

実施後の保護者アンケートでは、「学内なので安心して預けることができた」「子どもが毎日楽しく過ごせた」「積極性が出てきた」といった感想や、「期間を延長してほしい」「他の学童との交流の機会を設けて欲しい」といった要望をいただきました。

琉球大学では今後も継続して実施していきたいと考えています。



### 慰霊の日託児ルーム開設

本学の教職員の仕事と生活の両立支援として、勤務日における「慰霊の日(6月23日)」に伴う学校休校中の学童保育を提供しました。

18名の教職員が利用し、児童26名を受け入れました。



### 入試時における託児室設置

教職員の就業と家庭生活の両立支援として、「センター試験」、「一般入試(前期・後期日程)」において託児室を設置しました。延べ、7名の教職員が利用し、児童8名を受け入れました。



### 平成28年度インセンティブ経費

公募により女性研究者を採用した部局等にインセンティブ経費を配分し、教育や研究活動の環境整備等に使用されました。

#### 【インセンティブ経費を配分された部局(採用順)】

- ・教育学部
- ・農学部
- ・理学部
- ・工学部
- ・グローバル教育支援機構(2件)

### 女性教員短期研究専念制度(試行)

本学に在職する女性教員の学術研究を推進し、本学の教育・研究の発展に貢献できる人材を育成する目的で、本学以外の教育研究機関等において一定期間研究又は学術調査に専念できる「短期研究専念制度」を試行しました。

今年度は、観光産業科学部 教授1名、理学部 助教1名、計2名を採択しました。

### 女性研究者を研究代表者とする共同研究への研究費助成

女性研究者を研究代表者とするグループに対し研究費を助成する「琉球大学女性研究者支援研究費(グループ研究)」を新設し、平成28年度は3名の女性教員が採択を受けました。

### スキルアップセミナー

研究者および大学院生を対象に、英語による研究成果発信の強化と能力向上を目的としたスキルアップセミナーを開催し、延べ25名が参加しました。

#### ■ 第1回「英語論文個別指導」(面談)

日 時：平成28年11月25日(金)～26日(土)

講 師：川上 倫子氏(リンクサイエンス)

※平成28年11月から平成29年2月末の期間、Skypeによる個別指導を継続実施

#### ■ 第2回「英語論文ワークショップ」

日 時：平成28年11月27日(日)

講 師：川上 倫子氏(リンクサイエンス)

#### ■ 第3回「英語ディスカッション」

日 時：平成29年1月13日(金)

講 師：Pamela Thoma博士(ワシントン州立大学)



### 競争的資金セミナー

本学の教員および研究者を対象に、本学の女性研究者の科研費申請そして採択へのモチベーションアップとスキルアップを図ることを目的に、競争的資金セミナーを開催し、科研費獲得に向けた意識づけと、採択のためのノウハウやテクニックを学ぶ機会を提供し、9名が参加しました。

#### ■ 競争的資金セミナー

##### 「科研費採択に向けた効果的なアプローチ」

日 時：平成29年2月24日(金)

講 師：北川 慶子氏(聖徳大学 教授)



### 英文校閲費用助成・国際学会派遣費用助成事業

女性研究者のキャリアアップを推進することを目的に、学術雑誌に論文を投稿する際の英文校閲に係る費用および国際学会等で研究成果発表を行うために必要な経費を助成しました。

#### 【平成28年度採択実績】

- 英文校閲費用助成(上限5万円) 4名
- 国際学会派遣費用助成(上限15万円) 4名 ※内1名は「復帰支援」

## 女性研究者の上位職への積極的登用に向けた取組

### 第8回 九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウム in 沖縄

平成28年11月11日(金)、琉球大学学生会館において、「第8回九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウム in 沖縄 ～九州・沖縄の国際化と女性研究者の役割～」を、沖縄科学技術大学院大学との共同主催により実施しました。  
学内外からのべ126人の参加がありました。



#### ■ 第1部 基調講演

「異分野融合への挑戦」  
東北大学原子分子材料科学高等研究機構長 小谷 元子氏

#### ■ 第2部 パネルディスカッション

「大学の国際化に果たす女性研究者の役割」

### 九州・沖縄アイランド女性研究者支援ネットワーク(Q-wea)スペシャルミーティング

平成28年12月1日(木)、東京のTKPガーデンシティ竹橋において、「九州・沖縄アイランド女性研究者支援ネットワーク(Q-wea)スペシャルミーティング」を実施しました。ミーティングは、日本大学薬学部薬学研究所 上席研究員の大坪久子先生によるミニレクチャーと意見交換が行われ、全国の女性研究者支援を推進する研究・教育機関33機関46名が参加しました。



### 部局長訪問

ダイバーシティ推進担当理事、ジェンダー協働推進室長及びジェンダー協働推進室メンバーが、文系の部局長(学部長等)を訪問しました。過去の本学女性教員採用比率や女性研究者比率等について分析・データ化した情報を元に説明を行うとともに、本事業の計画及び女性研究者支援策について説明を行い、本学が直面している女性研究者支援に関する課題について認識の共有を図りました。

- 法 文 学 部 平成28年5月30日(月)
- 観光産業科学部 平成28年6月2日(木)
- 教 育 学 部 平成28年6月8日(水)

### 教授会におけるFD研修

各学部で行われる教授会において、FD研修を行い、本学における女性研究者の採用・在職比率や女子大学院生の在籍比率等を示しながら女性研究者の積極的採用と登用、支援の必要性について説明するとともに大学におけるダイバーシティ推進の重要性、各種支援事業や制度等について紹介しました。

- 農 学 部 平成28年5月25日(水)
- 工 学 部 平成28年6月22日(水)
- 医 学 部 平成28年7月27日(水)
- 理 学 部 平成28年8月17日(水)
- 教 育 学 部 平成28年9月21日(水)
- 法 文 学 部 平成28年10月26日(水)
- 観光産業科学部 平成28年11月9日(水)

### ダイバーシティ推進セミナー

本学の全教職員を対象に、大学における男女共同参画と女性研究者支援、女性研究者の活躍促進への理解を深めることを目的に、ダイバーシティ推進セミナーを開催しました。  
全学から78名(第1回:37名、第2回:41名)の教職員の参加がありました。

#### 第1回 ダイバーシティ 推進セミナー

日 時：平成29年3月6日(月)  
講 師：菅原 悦子氏(岩手大学理事・副学長)  
演 題：「地域活性化に果たす大学の役割 -岩手大学  
男女共同参画の取組から-」



#### 第2回 ダイバーシティ 推進セミナー

日 時：平成29年3月30日(木)  
講 師：ジョイス・チネン氏(ハワイ大学沖縄研究センター長)  
演 題：「大学におけるダイバーシティの創成 ～ハワイ大学沖縄研究センターのあゆみ」  
講 師：テレサ・ビル氏(ハワイ大学女性センター・特任教員)  
演 題：「ハワイ大学における子育て支援とダイバーシティ推進」



### 女性研究者のためのリーダーシップ研修

本学の女性教員を対象に「英語による女性研究者のためのリーダーシップ研修」を開催しました。  
研修は、自らの発信力、相手への対応力、リーダーとしての振る舞い方など、教員として、研究者としてリーダーシップが求められる様々な場面で役立つコミュニケーション術を英語で学びました。事前アンケートのデータからわかるリーダーシップの自己診断を中心に、参加者それぞれが自分を知り、自分の素質を高めるユニークかつ有意義なワークショップとなり、延べ9名が参加しました。

#### ■ 「女性研究者のための効果的なコミュニケーション術」

日 時：平成29年2月15日(水)～16日(木)  
講 師：エリザベス・ハンドーバー氏(ルミナラーニングジャパン)



## 裾野拡大、地域・産官学との連携

### キャリアデザインフォーラム

「ちゅら島の未来を創る知の津梁(かけ橋)事業」(COC地<知>の拠点整備事業)の一環として、企業や大学、国際機関で活躍されるリーダーを沖縄県内外からお招きし、「キャリアデザインフォーラム2016:国際化とジェンダー:沖縄の未来を創るのは私たち」を開催しました。キャリアデザイン、ワークライフバランス、国際的な活躍の経験、国際的視野を持つ意義について講演頂きました。

#### ■ 夢へのプロセス ～3つのチャ・チャ・チャ～

日時：平成28年6月20日(月)  
講師：豊川 明佳氏(有限会社 インターリンク沖縄 代表取締役)

#### ■ ジェンダー：パネルディスカッションから学ぶ

日時：平成28年6月27日(月)  
講師：益戸 正樹氏(パークレイズ証券株式会社 顧問)

#### ■ 研究と実践を繋ぐ：国際保健の現場での模索

日時：平成28年7月11日(月)  
講師：松山 章子氏(長崎大学熱帯医学グローバルヘルス研究科 教授)

#### ■ 国際機関で女性が働くということ：開発途上国の現場や本部での経験から

日時：平成28年7月25日(月)  
講師：佐崎 淳子氏(国連人口基金東京事務所 所長)



### 共通教育科目「キャリアデザインとジェンダー」

平成28年度前期共通教育科目「キャリアデザインとジェンダー」を開講しました。本学の様々な分野の女性教員や地域で活躍する多彩な方々によるオムニバス形式の講義で、68名の学生が受講しました。

第1回	4月11日	喜納 育江(法文学部 教授)	序論 キャリアデザインとジェンダー
第2回	4月18日	小林 かおり(ジェンダー協働推進室マネージャー)	世界60か国を歩いてきて：自分が本当に好きなことを仕事にする
第3回	4月25日	陳 碧霞(農学部 助教)	外国で働く女性研究者
第4回	5月2日	小林 かおり(ジェンダー協働推進室マネージャー)	アクティブ・ラーニング：自分の好きなことを仕事にするための序章
第5回	5月9日	波利井 佐紀(熱帯生物圏研究センター 准教授)	海外研究者との交流：サンゴ礁研究を通じて
第6回	5月16日	藤田 陽子(国際沖縄研究所 所長)	島と国際性
第7回	5月23日	金城 ひろみ(法文学部 准教授)	近づいて見えたもの、離れて気がついたこと
第8回	5月30日	矢野 恵美(法務研究科 教授)	性自認・性的指向とキャリアデザイン
第9回	6月6日	宜野座 綾乃(国際沖縄研究所 博士研究員)	多文化の中で伝える<思い>～家庭・研究・国際的行動の現場で
第10回	6月13日	加瀬 保子(法文学部 准教授)	留学で学べること：自分が主人公の人生を歩む
第11回	6月20日	豊川 明佳(有限会社インターリンク沖縄 代表取締役)	夢へのプロセス ～3つのチャ・チャ・チャ～
第12回	6月27日	益戸 正樹(パークレイズ証券株式会社 顧問、琉球大学経営評議会評議員)	ジェンダー ～パネルディスカッションから学ぶ～
第13回	7月11日	松山 章子(長崎大学熱帯医学グローバルヘルス研究科 教授)	研究と実践を繋ぐ -国際保健の現場での模索
第14回	7月25日	佐崎 淳子(国連人口基金東京事務所 所長)	国際機関で女性が働くということ：開発途上国の現場や本部での経験から
第15回	8月1日	喜納 育江(法文学部 教授)	まとめ「キャリアアップとワーク・ライフ・バランス」

### 女子中高生理系進路選択支援事業

次世代を担う理系進学に関心のある女子高校生を主な対象に、科学に対する興味を深め、将来の進路選択の一助となるよう、研究者による講演・実験や、女子学生も交えた交流会等を行いました。

#### ■ サイエンスプロジェクト for 琉球ガールズ Vol.5

日時：平成29年3月27日(月)～28日(火)  
会場：石垣島天文台、国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター、VERA電波望遠鏡ほか  
講師：嘉数 悠子博士(国立天文台ハワイ観測所)  
高林 美咲教授(ハワイ大学 ヒロ校)



#### ■ オープンキャンパス「理系女子のための自然科学分野紹介」

日時：平成28年7月16日(土) 12:30～13:30  
会場：理系複合棟1階 102教室  
講師：漢那 洋子准教授(理学部)

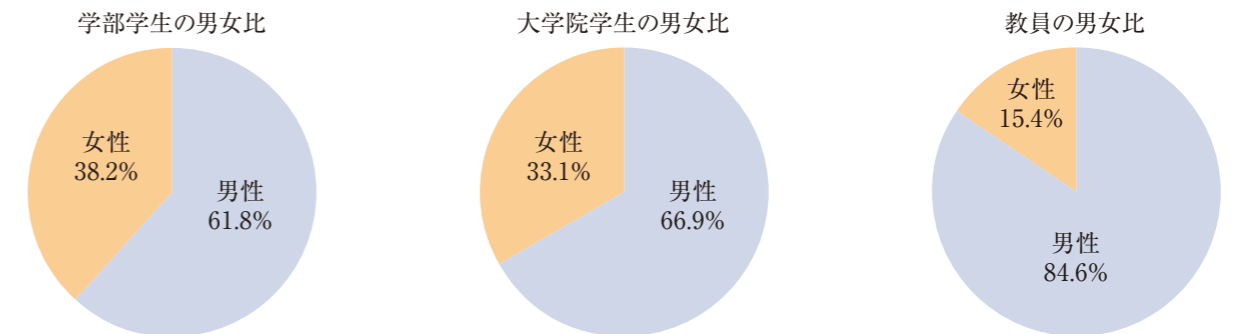
### 沖縄県における女性産官学コンソーシアムの構築に向けた意見交換会

平成29年3月9日(木)、沖縄県内の産官学でめざましい活躍をされている女性リーダーの方々による意見交換会を開催しました。今回は「女性プロフェッショナルの育成に向けた産官学協力体制の構築について」をテーマに、将来の沖縄の各分野において社会をリードする職業人、特に女性の職業人を育成するために持続可能な産官学の協力体制(インターンシップなど)のあり方について、人事に関わる方々や女性職業人の教育に関わる方々など様々なお立場からの貴重な意見が交わされました。地域の男女共同参画への意識啓発と地域の活性化を担う女性リーダーの育成のため、沖縄県における女性産官学コンソーシアムの構築へ繋げていきます。

### 数値でみる琉球大学

#### 学部学生の男女比率(学部学生・大学院学生・教員)

■ 図 琉球大学の男女比(学部学生、大学院学生、教員)／出典：平成28年度学校基本調査



#### 部局別女性教員の在職比率

■ 図 琉球大学の学部・研究科別女性教員の比率(平成28年5月1日現在)

